



ながはま



Vol.42

平成28年7月15日発行
発行：長浜市議会
編集：広報広聴委員会

平成28年6月定例会が6月6日から6月24日まで(19日間)の日程で開催されました。

第6回市民の皆さんとの意見交換会を開催しました	2面
常任委員会での審査をお知らせします	3面
市政を問う（個人一般質問事項と答弁概要）	4～14面
会派代表質問の変更、予算常任委員会の設置	14面
総合計画特別委員会を開催しています	15面
議案に対する各議員の賛否、議会の動き、お知らせ、編集後記	16面

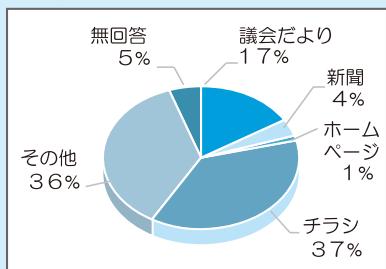
意見交換会を開催しました

平成28年5月26日（木）に西黒田公民館、5月28日（土）に虎姫公民館において、平成28年度の予算審査報告、「地域づくりについて（西黒田）」・「治水対策（虎姫）」をテーマとした意見交換、その他自由な意見交換を行いました。2会場合計100人のご参加をいただくとともに、多くの貴重なご意見等をいただき、誠にありがとうございました。

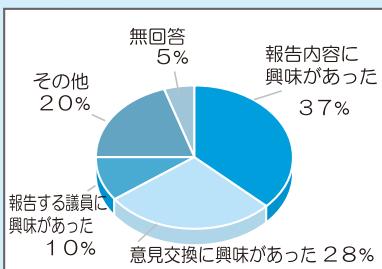
意見交換会アンケート集計結果

参加者100人中75人の方から回答をいただきました。

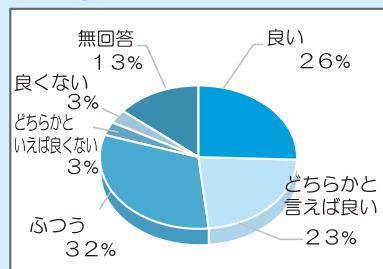
開催をどのように知りましたか



参加しようと思った理由は



参加していかがでしたか



西黒田公民館（参加人数 37人）

主なご意見

問 地域活力プランナーの予算については、使い勝手のよい予算になっているようにお聞きしますが、どのように使っていけばいいか。

答 時給980円×100時間と、活動手当1,000円～1,500円が地域づくり協議会、地域活力プランナーの活動資金として人件費・事務所費用・消耗品等に使用できます。詳細は、市民協働部市民活躍課にお聞きください。

問 市は土曜日授業をやっています。年間、何日ですか？ 各校でそのスケジュールが違い、スポーツ少年団や地域の行事等が実施しにくいので統一してほしい。議会ではどのように検討しているのか、お聞きします。

答 土曜日授業は、夏休みを含め年間10日です。確かにスポーツ少年団によっては土曜日に大会が開催されたり、練習日がバラバラになっていますが、年度末にアンケートを各学校やスポーツ少年団に取っていただき、改善していく

きたいと教育委員会から聞いています。スポーツ少年団への要望、市外との大会などによっても変わますが、含めて土曜日授業についても検討してまいります。

問 海上保安庁の資料に基づいた南海トラフのヒズミを見て長浜はどうなっているか心配です。いま何をしなければいけないか考え実行していただきたい。

答 長浜市議会といたしまして、いざ災害が起こった場合にどう対応していくか検討するため、本年度は議会BCP（事業継続計画）策定に取り組んでまいります。

問 小谷城スマートセンター建設地域の農地の青地を白地に変更できないのか。変更できれば住宅建設ができ、固定資産税が増えるのではないか。

答 青地の白地化は8年ルールといったしばりがきつく、すぐにはできません。石破地方創生大臣にも申し入れたが変更はできないとのことです。農業に関わるものはよいため、生産から販売までといった6次産業化につながる「アグリビジネス」に力をいれてまいります。ご要請に対し、議会も応えていきたいと考えており見守っていただきたい。

問 市債残高の報告があったが、同規模の市と比べて多いのか、少ないのか。

答 類似団体と比較して長浜市は標準です。厳しい財政規模ですが、前倒しで返済を行い、市債残高は減っています。合併時は600億円あったが100億円減少しました。

問 湖北圏域河川整備計画（案）では田川の問題に対し、10年に一回程度の降雨を前提としているのはおかしいではないか。

答 現在の田川カルバートはコンクリート製で毎秒流下能力109トン、その前はドーム型で能力は49トンでした。10年に1回程度では不満です。市議会として国、県に要望します。



虎姫公民館（参加人数 63人）

★これ以外にも、多数のご意見をいただきありがとうございました。

その他のご意見や、その後検討・確認した内容につきましては、市議会ホームページに掲載しております。

皆様からいただきましたご意見・ご要望につきましては、これから議会活動などに反映してまいります。

各常任委員会の報告

各常任委員会では、第2回定例会で付託された議案14件・請願1件・意見書案1件について審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

専決処分・一般会計補正予算等を審査

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案8件については、慎重審査の結果、いずれも全員一致で承認・可決すべきものと決しました。
▼専決処分事項の承認を求めるに基づいては、平成27年度決算見込みに基づく予算整理として基金へ積立を行うものです。
▼平成28年度一般会計補正予算では、自治総合センター助成採択に伴うまちづくり支援事業費、国庫補助採択に伴う耐震性貯水槽の整備費、住民情報システムクラウド構築・利用・保守業務にかかる債務負担行為、産業文化交流拠点施設整備設計業務にかかる債務負担額の変更です。
▼条例関係は、長浜市立公民館条例と長浜市運動場照明施設条例の一部改正です。
▼その他、湖北地域消防組合規約の変更、長浜市消防団に関する事務の委託、備蓄倉庫と消防ポンプ自動車の財産の取得について、審査しました。
▼請願第3号「2024年滋賀国体弓道競技の長浜市開催と長浜市民弓道場の新設整備を求める請願書」は全員一致で採択すべきものと決しました。
▼議案以外の協議事項として長浜市民館のコミュニティ施設化と、市町との共同による滋賀県独自の被災者生活支援制度（恒久制度）の創設について、当局の説明を受けました。

税条例等の一部改正等を審査

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、「専決処分事項の承認を求めるに基づいて（専決第2号）」ほか3件であり、慎重審査の結果、いずれも承認・可決すべきものと決しました。
▼専決処分第2号は、地方税法等の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い、所要の改正を行つたものです。
▼一般会計補正予算は、マイナンバーカードの交付体制を充実するため、年度末まで延長することに伴う経費や介護福祉施設整備を行う民間事業所に対する補助金です。
▼国民健康保険特別会計補正予算は、平成30年度から都道府県が市町村とともに国民健康保険の運営を行う制度改革が実施されることに伴う、システムの改修経費です。
▼長浜市税条例等の一部改正は、再生可能エネルギー発電設備にかかる固定資産税の「わがまち特例」の適用や、法人市民税の法人税割の税率改正など、地方税法の改正に基づく所要の改正を行ふ内容です。

空家等に関する条例の制定等を審査

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、「平成28年度長浜市一般会計補正予算」ほか4件であり、慎重審査の結果、いずれも可決・承認すべきものと決しました。
▼平成28年度一般会計補正予算は、公共歩廊整備や駅前広場改修を行う長浜駅周辺整備事業、台湾観光展におけるトックセールスを行うインバウンド推進事業に要する経費です。
▼条例関係は、空家等対策を推進するための長浜市空家等に関する条例制定および長浜市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正です。
▼専決処分第1号は、市道速水6号線整備事業に係る繰越明許です。
▼また、平成29年4月からの市全域の水道事業統合に伴う長浜水道企業団規約の改正について審査しました。
▼審査の過程における意見として、長浜駅周辺整備事業の工期や内容、目的を広く周知すること、インバウンド事業を契機に6次産業化や特産品振興が図れるようPRに努めること、空家等に関する条例は関連する既存計画と整合性を保ち推進されることを申し添えています。
▼その他、議案以外の協議事項として「地区計画の区域内における建築物等の形態意匠の制限」について、当局からの説明を受けました。

市政を問う

今定例会では、19人の議員が個人一般質問を行いました。

個人一般質問（掲載順）

※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、5～14ページに掲載しています。

- 竹内 達夫議員 ①芝生付きグラウンドゴルフ場の創設について ②教育問題について
③熊本地震から何を学び、対策の強化について
④雇用問題について ⑤農業問題について
- 西尾 孝之議員 ①大型トラックの営業ナンバーについて ②合理化事業計画について
- 浅見 信夫議員 ①長浜市街地の集中豪雨による水害対策について
②生活保護制度について ③国民健康保険について ④人事評価制度について
- 竹本 直隆議員 ①保育行政について ②長浜市健康推進協議会健康推進員について
- 中島 康雄議員 ①本市の教育力について ②入札・契約制度について ③市立長浜病院の経営について
④耕作放棄地等に対する対策について ⑤補助金に頼らないまちづくりについて
⑥投票率向上に向けた環境整備について
- 佐金 利幸議員 ①大学通学支援制度について ②ふるさと納税について
③観音坂トンネル改良後について
- 中川 勇議員 ①一部事務組合方式による共同事務の見直しについて
②県営ため池等整備事業「大井川地区事業計画」等の進捗状況について
③震災等大災害に伴う学校施設等指定避難所について
④獣害問題に対する個別的対策から総合対策への切り替えについて
⑤ユネスコ世界文化遺産及び記憶遺産の複数登録への動きもある中で、児童生徒を含む市民全体に向けた遺産登録への意識教育の推進について
- 西邑 定幸議員 ①丹生ダム事業の最終検証と河川整備計画について
②地方公会計導入に向けての取組について
- 松本 長治議員 ①長浜の活性と、その実現に向けた取り組みについて ②二巡目の滋賀国体について
- 矢守 昭男議員 ①学力向上における学校司書の配置等について
②長浜市民庭球場での熱中症等の安全対策について
③交通安全協会と市役所との連携について ④自然災害時等の対応、対策について
- 峰山 紀子議員 ①新生児聴覚スクリーニング検査について ②就学援助制度について
③食品ロス削減に向けての取り組みについて
- 中川リョウ議員 ①鳥獣害対策について ②支所の機能と役割の見直しについて
③文化財の保存と活用について
- 轟 保幸議員 ①北部地域活性化計画について
②余呉型民家の保存と集落群の景観の保全維持と活用について
- 柴田 光男議員 ①減災・防災について
- 草野 豊議員 ①放課後児童クラブ等について ②職員の仕事に対する意欲について
- 押谷與茂嗣議員 ①コンプライアンスのための意思疎通について ②人材育成のための人事異動について
- 森田 義人議員 ①市民の声（意見・提言等）を聞くことについて ②成年後見制度について
- 鬼頭 明男議員 ①子どもの支援について ②不登校について ③子どもの貧困について
- 柴田 清行議員 ①JR北陸線の推進への取組みについて ②北部総合体育館と木之本運動広場の今後について
③木之本宿再生計画の今後の進め方について

一 般 質 問

芝生付きグラウンドゴルフ場

竹内 達夫（日本共産党）

ない。さらに、医療費の抑制にも繋がり「一石二鳥」三鳥にもなる。特に芝生付きのグラウンドは、熱中症を防ぐ等高齢者の身体に与える効果も大である。ところが、旧長浜地域には芝生付きグラウンドゴルフ場はなく、長浜市グラウンドゴルフ協会や老人クラブ連合会からも「芝生付きグラウンドゴルフ場の創設要望書」が提出され、多数の愛好者からの切望に応えるべきと答えるが如何か。



大型トラックの 富士山ハイウェイ

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

西尾 孝之（無会派）

天然芝は、足腰への負担度上昇抑制の役割を果たしています。しかし、芝生付きグラウンドゴルフ場の新設には多額の財政負担を要するため、具体的な計画はありません。

教職員の長時間勤務の解消について

教職員の長時間勤務の解消について

は、一日の平均在校時間
は小学校11時間35分、中
学校12時間6分、自宅持
ち帰り仕事はそれぞれ1
時間35分、1時間44分だ。
市の実態を把握するため
に、タイムカード、OC
カードを導入すべきと考

問 長浜市は地元企業によるような指導をして

合理化事業計画について

問 絵画の田舎にてして
もしもや 謎謔しつづねか
聞ひ。

問 計画は、下水道整備により経営に著しい変化が生じる一般廃棄物処理業者の影響を緩和し、併せて経営の近代化、規模の適正化、業務の安定化を支援する目的のものです。

務であることと、その他各自治体独自の対策を実施

自治体独自の対策を実施

問 定められた期間に企
す。

答 計画は、下水道整備
により経営に著しい変化
が生じる一般廃棄物処理
業者の影響を緩和し、併
せて経営の近代化、規模
の適正化、業務の安定化
を支援する目的のもので
策定し、事業者及び関係
課等と協議のうえ協定書
を締結しています。今後
この通知も参考に計画を
通知は、実務上の参考と
して示されたものです。

が混在しており、引き続き指導を行い、法令違反があつた場合は、警察当局と相談しながら対応をしてもらつた」と考えていいます。

厚生省通知では、実施期間については所要の見直しを行うこと、事業転換のための援助は、その他の市町村が民間企業に委託することができる業務であること、その他各自治体独自の対策を実施する方針について述べてお

強化や合理化を進めていた
ただいていふと考へてお
ります。

一般質問

長浜市街地の集中豪雨による水害対策について



浅見 信夫 (日本共産党)

長浜市街地の浸水被害対策は急務!

問 長浜市街地を流れる一級河川である米川は、毎年のように集中豪雨により浸水被害が発生している。

古くは1959年の伊勢湾台風での甚大な被害をはじめ、最近では、2008年7月、2010年9月に浸水被害があり、2014年8月には、米川の氾濫で66世帯が床下浸水している。

県では、密集市街地を流れれる河川のため、浚渫工事や護岸のかさ上げ工事が難しいことを理由に、有効かつ抜本的な対策が打てていない状況で、地域住民から不安と怒り



問 長浜市街地を流れる一級河川である市は毎年、米川の河川整備や浸水被害対策など、年に集中豪雨により浸水被害が発生する状況、調整池や遊水地の検討状況および県等関係機関との連携について問う。

古くは1959年の伊勢湾台風での甚大な被害をはじめ、最近では、2008年7月、2010年9月に浸水被害があり、2014年8月には、米川の氾濫で66世帯が床下浸水している。

県では、密集市街地を流れれる河川のため、浚渫工事や護岸のかさ上げ工事が難しいことを理由に、有効かつ抜本的な対策が打てていない状況で、地域住民から不安と怒り

答 河川改修が困難な中、県において、治水効果が期待できる対策として、遊水池の整備について引き続き検討がなされています。昨年度、「米

川水防行動マニュアル（案）」「米川水位簡易予測モニタ（案）」が作成され、今年度、豪雨発生時の水防対策の支援として、実践の場で検証されます。

問 私立認定こども園の必要性やメリット・デメリットを問う。

答 待機児童の解消を進めるつえで、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園が果たす役割は大きく、民間の認定こども園についても必要性が認められるものであります。デメリットは意識していません。

問 現在市立の保育園が3園あるが老朽化の進んでいる保育園もあり、将来的に民間の認定こども園に移行する考えは持っているか問う。

答 今後、公立3園に関する計画を定めていくなかで検討してまいります。

保育行政について



竹本 直隆 (新しい風)



問 公立保育園は、特別保育事業（一時保育、休日保育、病児・病後児保育）では民間よりも実施が遅れていると言われていますが、本市の認識を問う。

答 平成27年度の「保育所保育料」滞納者は77名、未収納金額は630万6,980円であり、未収納繰越保育所保育料は1,817万7,580円です。

問 保育園に眞面目に払っている方、保育園に入れず困っておられる方々などに対しても不公平、不利益であるが、「強制徴収公債権」の執行はあるか問う。

答 差し押さえはないが、差押え予告をした所納付していただいた例もあり、今後厳しく対応してまいります。

学力・体力向上についての 教育方針について



中島 康雄（改革ながはま）

る教育推進をばかり定住化促進を図りませんか、市の見解を問う。

大学通学支援制度について



佐金 利幸（新しい風）

産業振興による新たな雇用を創出しつォーンを含む市外からの人の流れを生み出すことを第一と考えています。

ふるさと納税について

問 長浜市では以前からふるさと納税については「純粋に長浜市を思っている方を対象にしており返礼品目当ての方による寄付は考えていない」と言っておられましたが、今もその考え方は変わっていますか。

答 静岡の取組みについては承知しています。この施策により地元からの通学に切り替えた学生が何人いるか、また、地元から通学する事が果たして将来の地元就職に結びつかないのか、その効果測定には一定の期間を要するものと考えられます。本市としましては、「長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示す通り、返礼品につきましては21点から47点に拡大し、寄付額を増やしていく所存であります。

一般質問

問 平成26年4月「長浜子育て憲章」「長浜子どものちかい」を策定されたその効果はどうの様に検証され子供達の心に浸透されたのか。また、教育の向上のため、教育関係企業や大学と包括連携を締結し、「知・徳・体」のバランスの良い子どもたちを育てる新たな教育向上を図つてはどうかと考えます。

さういふ、様々な学校で教育方針や重点目標を立てておられるところですが、全国学力・体力中学校トップの永平寺中学では、「教育方針」「目標」、「努力目標」が掲げられ、校門での礼、授業始めい子どもを育てる環境づくりを行い、「子育てるなら長浜市」と魅力あ

きと挨拶してくれ、感動の連續でした。

授業は、素晴らしい授業の連続で、教室では「集中力が違う」との印象。姿勢を正し黙想。気持ちを整えて「お願いします」で授業に入る。素晴らしいのはこれだけではありません。伸ばす学力の推進事業として「学力向上プラン」を企画されていました。

問 長浜市人口ビジョンでは男性に比べ女性は、大学又は専門学校を卒業しても地元長浜には戻つてこない傾向にあると報告された。せっかく長浜

向上に取り組んでおり、「徳」の育成としては、心を耕す教育にも力を入れており、明るく元気になれる子や進んで掃除をする子も増え「子育て世帯から『選ばれるまち』を創造する」を戦略目標の中の一つにしており、魅力あらわれる教育施策を展開しながら今後も「力のある子どもたち」を育ててまいります。

1／3の補助が出れば新幹線通学の方が安くなり親にとって経済的に楽になる。又卒業後、長浜市に一定期間住めば市には住民税が入るため見返りとして「返還免除」とすれば二者両得となるが如何。

答 静岡の取組みについては承知しています。この施策により地元からの通学に切り替えた学生が何人いるか、また、地元から通学する事が果たして将来の地元就職に結びつかないのか、その効果測定には一定の期間を要するものと考えられます。本市としましては、「長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示す通り、返礼品につきましては21点から47点に拡大し、寄付額を増やしていく所存であります。

答 知・徳・体のバランスのどれた「生きる力」を身に付けた教育実践を行っており、特に「知」の育成については、副担任の指導員を配置し、低学年の子どもたちの学力向上に取り組んでおり、「徳」の育成としては、心を耕す教育にも力を入れており、明るく元気になれる子や進んで掃除をする子も増え「子育て世帯から『選ばれるまち』を創造する」を戦略目標の中の一つにしており、魅力あらわれる教育施策を展開しながら今後も「力のある子どもたち」を育ててまいります。



用を創出しつォーンを含む市外からの人の流れを生み出すことを第一と考えています。

産業振興による新たな雇用を創出しつォーンを含む市外からの人の流れを生み出すことを第一と考えています。

一般質問

一部事務組合方式による 共同事務の見直しについて



中川 勇（新しい風）

共同処理事務	長浜市	米原市
し尿処理施設	○	○
ごみ処理施設		
火葬場		
上水道施設 (簡易水道含)	○	○
消防事務	○	○

↓ ※当面、事務一本化を！

事務の委託方式
(協議により規約を定め、他自治体事務の一部を受託し、当該自治体事務として管理及び執行を行う)

県内でも同じ構成団体で3つはない。
まずは、一本化を図るべき！

問 広域・消
防・水道の3
団体は同一の
構成団体（長
浜・米原市）
であり、業務
運営だけでな
く今後、施設
整備でも検討
事業が山積である。コ
スト削減・効率性・透
明性の確保が強く求め
られている。一部事務
組合方式での問題・課
題は何か。

答 構成団体の議会の直
接審議の対象とならない
ことや一部事務組合にも
議会や総務部門が必要で
あることから、それぞれ
の機能とスペースの維持
管理運営にかかる費用の
重複が問題であると認識
しています。

問 大井川・鬼川周辺の
住民の方は、台風や雨季
が近づくと水害への不安
な日々を送っておられ
る。事業の進捗状況は如
何か。

答 丹生ダム建設事業
の検証を早期に終了させ
て、水源地域や高時川沿
川の方にとつて良い解決
策が出せるよう、地元と
連携して取り組みます。

答 住民の生命と財産を
守るために洪水対策と
「年間を通して流れのあ
る川」の実現に向け、河
川整備計画策定の中で意
見していきます。

問 平成29年度末まで
に、統一的基準での財務
諸表作成が求められる
が対応を問う。

答 昨年度より取組を進
めており、平成29年度中
の整備に向け、予定通り
進捗していきます。

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

答

一 般 質 問



長浜の活性と、その実現に 向けた取り組みについて

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

松本 長治 著

問 人口減少、高齢化社会に向けた地域づくりを考えれば、「定住促進」に向けた、まちの魅力を高める施策、特に、現在活躍されている企業に寄り添い、将来にわたり市内で営業され拡張されるよう、今ある優遇策の拡充に力を注ぐことが重要である。また、県施設の再配置・機能の再編について、例えば県庁の本庁

答 舎を米原や彦根に移転させるより、長浜市として提案できないのか問う。

問 平成36年に開催される、本県二巡目となる国体について、競技種目の決定までのプロセスや準備状況、指導者や人材確保に向けた取り組みを問う。

学力向上における学校司書の

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt.

矢守

学力向上における 学校図書館の更なる 充実を！！

問 学校司書の配置後の現状、貸出率と

長浜市民庭球場での熱中症等の安全対策について

行われることとなつたが、体制が変わり各支所との連携について問う。

学力向上
学校図書
充実を
答 学校の貸
出冊数調べに
ついて 小学
校では前年度比2・1倍
中学校では1・3倍に貸
出冊数が増加しています
蔵書数は標準冊数約33万
冊に対し、市全体で約
36万冊です。

答 熱中症対策として、今後クラブハウスの整備や利用者の方々に日々よけてしてご利用いただけるよう、「コートの間」における通路に屋根を設置するようにより対応してまいり

は大変重要な考へます。伊香文通安全協会については、新たな理事役員は福祉部門、道路部門、教育部門から選任し連携を図ります。同様に、長浜地区交通安全協会についても、地域の実情に応じた支援体制を整そられる

問 学校司書職員の勤務時間について問う。

問 熱中症対策としての施設整備について問う。
答 今後、大きな大会の際には、観客席への簡易

より新たな理事役員を選出し、協議を重ねてまいります。今後2つの協会と連携を密にして具体的な施策を進める考え方です

交通安全協会と市役所 との連携について

100



一 般 質 問

新生児聴覚スクリーニング検査について



鋒山紀子（公明黨）

問 市内の実施医療機関の状況と医療機関との連携について問う。

答 市内4つの産科医療機関全てにおいて実施されています。検査の結果、再検査が必要になつた場合は市立長浜病院、滋賀県立小児保健医療センターの耳鼻科、小児科を紹介されます。

問　検査を受けている新生児の状況と異常が発見された難聴児に対する対応について問う。

立小児保健医療センター
の耳鼻科 小児科を紹介
されます。

ることから、交付時によろしくお読みください。今後も
案内しています。今後も
交付時の機会をとらえ、
新生児聴覚検査の目的や
必要性について周知徹底
を図ってまいります。

問 妊婦に対する制度の
密検査が必要になった場合
は精密聴覚検査機関を
受診します。これらの関係
機関と連携し保護者への
支援を行っています。

情報提供について問う

A cartoon illustration showing a doctor with glasses and a stethoscope around their neck, holding a clipboard and pen, standing next to a patient with short hair.

鳥獣害対策について



中川リヨウ（改革ながはま）

正確な被害状況の
把握を！

の計画を立て
られた。前回の計画の結
果を活かし、どのように
計画にされたのか問う。

答 平成29年度から3年間は、新しい鳥獣被害防止計画に基づき、対策を講じていくことになります。新計画策定にあたっては、鳥獣被害の現状として、ハクビシンのような外来獣被害が増えていくことや、現計画における目標値が達成できていない部分を洗い出し、関係機関との協議を重ねながら、被害軽減に向けた

らのアンケートで算出されている。しかしながら、調査の時期が自治会役員交代がある2月であること、自治会の全世帯から回収されているのか不透明であることを踏まえると

答 現在、必要に応じて
本庁職員が支所に出向く
などの体制で対応してお
り、今後も市民の皆さん
の一ีchesに対し、迅速に
応えてまいりたいと考え
ております。この体制を
制度化し広くお知らせ
するか否かは、市民の一
緒を見極めながら研究し
てまいりたいと考えま
す。

対策等を練り直し、新たな目標値の設定をしていくことで、被害防止対策の実効性を高めるようにな計画にしていった」と語る。教えておつかれ。

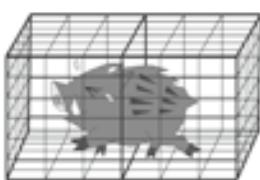
問 鳥獣被害金額の把握については、農業をされている方や農業共済からのアンケートと自治会か

答 現在、必要に応じて
本庁職員が支所に出向く
などの体制で対応してお
り、今後も市民の皆さん
の一ีchesに対し、迅速に
応えてまいりたいと考え
ております。この体制を
制度化し広くお知らせ
するか否かは、市民の一
緒を見極めながら研究し
てまいりたいと考えま
す。

© 2010 by the author. All rights reserved. This book or parts thereof may not be reproduced in whole or in part without written permission from the author.

正確な被害金額が把握できていないと思うが如何か。

答 鹿による林業被害についても被害金額に算入されていませんし、今後、調査の時期や方法についても検討していくかもしれません。



北部地域活性化計画について



轟 保幸 (新しい風)

問 計画期間終了年度であるが、進捗状況と自己評価を問う。

答 計画は、3つの重点プロジェクトを掲げ、除雪対策や交流人口拡大、商店街の活性化、農林水産業の振興、移住定住の促進と市民活動の支援の取り組み等、53の主要な施策中50項目の取り組みがで、地域活性化の成果を生み出せたと一定評価しています。今後は計画を改定し引き続き北部地域の活性化に努めてまいりたい。

問 余呂型民家の保存と集落群の景観の保全維持と活用について

答 今回のワークショップは「妙理の里周辺の観光まちづくり」と余呂湖周辺の観光まちづくり」の余呂地域活性化ワーキング組みを問う。



問 余呂型民家の保存と集落群の景観の保全維持と活用について

答 意見書の中の6項目の要請事項は余呂地域の振興の観点から重要で必要な意見であり活性化計画改定の中で検討してまいりたい。



問 伝統的余呂型民家保存の市の考え方を問う。

答 伝統的余呂型民家保

減災・防災について



柴田 光男 (改革ながはま)

問 いつ発生するかわからない自然災害に備え、生命と財産を守るために市を考えを問つ。

答 防災ハザードマップにより、市内の災害被害危険個所が周知され市民の方の不安解消のための市の取り組みについて問う。

答 ハード事業については順次計画をもって進めているが、整備事業は長期期間に渡るため段階的に取り組んでいます。自分の住んでいる地域の特性から想定される災害への備えが重要であり、防災意識を高めるための災害図上訓練等で啓発活動

史的伝統的建造物として評価が高いものがあります。保全については、まず所有者の歴史的価値の認識と保存継承の機運醸成が大切であると考えます。

問 余呂型民家集落の景観保存維持と活用について市の考え方を問つ。

答 余呂型民家集落の余呂町並は「ながはま百景」でもあり、歴史的伝統的建物群として評価が高く、保全維持には、将来的に保全維持できる主体の構築が重要です。地域振興の観点で重要な文化的景観に対する必要があります。

答 災害時は、まず、各自治会館や公園への一時避難所への集合が原則です。また、安全第一で「共助」が最も大切であり、指定避難所においては要支援者、高齢者への対応の充実を図つていきます。

問 災害用備蓄品についての取り組みについて

答 早急に確保する」とは難しいことから、先ずは企業や自治体との協定による物資の確保や、家庭や地域での備蓄の推進を図つていきます。

放課後児童クラブ等について



草野 豊（改革ながはま）

一 質 問

問 小規模放課後児童クラブ補助金の拡充や、放課後の居場所づくりモデル事業補助金の新設など、積極的に待機児童解消とサービス向上に取り組みをされている。

放課後受け入れ学年等については、放課後児童クラブ運営指針では「6歳から12歳」まで拡大され、児童期の発達特徴を低・中・高学年の3区分に整理し発達事項を踏まえた配慮が規定された。

答 一部の民間で入所希望者が非常に多いため、高学年をお断りされていることがあります。夏休みなど長期休業中には、全学年受け入れて

いただいています。

発達段階に応じた対応は、学年に偏りがありはつきりとした区分はしておりません。

問 放課後の居場所づくりモデル事業について、地域の支えあいによる児童の居場所確保と考えるが、補助対象経費に賃金が含まれている。

賃金を含むと、補助金が相当低く設定されることはいかが?

答 放課後児童クラブと違い、面積要件や資格等の厳格な基準は設けず、開所日数や期間等についても、大幅に緩和し、自治会館等の地域資源を活用し、安全・安心に過ごせ地域で支える力を醸成していただきます。

人件費は事業の趣旨から、謝礼相当を想定しています。

今後の事業の方向性について、地域での子育てを意識された、素晴らしい事業だと考えるが、

今後の見通しと、モデル事業としての区切りは考えているのか?

答 地域の資源を生かして、取り組みやすい内容ですで、積極的に声かけをして、活動の輪を広げてまいります。生まれ育った土地に愛着を抱けるよう、地域文化や歴史にも理解を深められる支援内容にも期待しています。

問 不祥事を避け、風通し良く、より良い職場環境づくりには、硬直化することなく、これまでの仕組みや考え方などられない柔軟な考え方があ

りたい。

答 把握した結果に対し、継続して取組を積み重ねていく必要性を再確認しました。

問 不祥事を避け、風通し良く、より良い職場環境づくりには、硬直化することなく、これまでの仕組みや考え方などられない柔軟な考え方があ

りたい。

答 市長と職員、管理職と一緒に職場等が、トップの思いや現場の声等、相互に思いを伝えあつことは、

活性化した組織づくりに欠かせないものと認識しています。今後も、職員と市長とのランチトークや、副市長が各職場を訪れ、直接顔を合わせつつ、職員相互の十分な意

思疎通、風通しの良い職場づくりを図つてまいります。

コンプライアンスのための意思疎通について



押谷與茂嗣（無会派）

人材育成のための人事異動について

人事異動については、職員のモチベーションを高める視点が必要と考えるが如何か。

答 組織・世代・仕事をにより組織が大きくなり、継続させ、職員の意欲が高まった組織づくりのため、基本を常に認識し、人事異動を活用してまいりたい。

問 各職員が市民の奉仕者としてそれぞれの役割・責任を果たすうえで、少し角度を変えた人事異動、人材育成について見解を問う。

答 様々な意見を一つにしていく中で、多様などいろいろな観点も含め人事異動等に努めてまいりたい。



市民の声を聞くべしといひ



森田 義人（要）

問 成年後見制度を将来利用する可能性の高い方（予備軍）は何人かを問う。

問 市の政策・条例等の案を公表し、広く市民からの意見及び提言の提出を受け、政策・条例に反映することは極めて重要である。市民から意見を募るパブリックコメント制度の利用状況と改善策を問う。

答 平成27年度は17件実施し、29人から133件の意見をいただきました。

内訳は、直接：8人

メール：18人、91件。

意見がの件の案件もあり、工夫をする余地はあります。

一般質問



問 成年後見制度について
本制度は、認知症、知的しおうがい、精神しおうがい等の理由で判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度として平成12年4月にスタートした。現在何人の方が利用されているのか

答 平成27年度は17件実施し、29人から133件の意見をいたださりました。内訳は、直接：8人メール：18人、91件。意見がの件の案件もあり、工夫をする余地はあります。

問 「子ども食堂」の完全支援について問う。

答 「子ども食堂」につきましては、地域のボランティアの方々を中心とする手帳所持者、精神保健福祉手帳所持者、平成26年4月時点での認知症高齢者の合計数は、5,716人で、約6,000人と考えます。



鬼頭 明男（日本共産党）

子どもの支援について

問 文部科学省の調査によると、うつ病などの精神疾患で休業した教員は、5,000人程、その理由のトップは「多忙感」。多忙で生徒と向き合えない教員と不登校児との現状と、今後の対応と対策について問う。

答 不登校をはじめとする教育課程に対応するためには、教員が生徒と向き合う時間を十分に確保し、活動が、地域で支える力を強くするものだと考えております。そのためには、教員が生徒と向かい合っていいます。そのため、教員の負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるようになります。定期退勤日やノーテーブルの設定、会議の精選、校務分掌の見直し、行事の見直しや精選など、取り組みを積極的に進め、教員の超過勤務の縮減に努めてまいりたいと考



問 「子ども食堂」は、公的制度のもと、一定の基準により実施するものではなく、地域の方々がそれそれでもいじを持った寄り、できる範囲で、地域の実情に合った活動をされるものと認識してあります。「子ども食堂」は、地域の実情に合った活動をされるものと認識してあります。「子ども食堂」は、地域で支える力を強くするものだと考えております。

ではあります。一人で食事する子どもや、両親が夜遅くにしか帰宅しない子どもなど、「つながり」が困窮している子ども達も対象として、地域の方々ができる範囲で連携し、協力し助け合いつつで経営されており、このことで、地域における新たな繋がりや絆が生まれます。

問 文部科学省の調査によると、うつ病などの精神疾患で休業した教員は、5,000人程、その理由のトップは「多忙感」。多忙で生徒と向き合えない教員と不登校児との現状と、今後の対応と対策について問う。

答 不登校をはじめとする教育課程に対応するためには、教員が生徒と向かい合っていいます。そのため、教員の負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるようになります。定期退勤日やノーテーブルの設定、会議の精選、校務分掌の見直し、行事の見直しや精選など、取り組みを積極的に進め、教員の超過勤務の縮減に努めてまいりたいと考

JR北陸線の推進への取組みについて



柴田 清行（新しい風）

取組みについて

65町、303町である

事から街道を活かした町づくりの今後の進め方にについて問う。



一般質問

- 問 今後の運動広場の規模と北部総合体育館について
模と北部総合体育館について問う。

- 問 木之本宿再生計画の今後の進め方について
木之本宿再生計画の今後の進め方について問う。

- 問 今後の運動公園の規模と木之本宿横断する北国街道、地蔵坂は国道3について問う。

- 問 今後の取組みとJRとの協議について問う。
答 JRに対しましては北陸線上り線の2両から4両編成への増結、下り線は20時以降の長浜以北増便、米原駅発車電車の長浜までの延伸などを要望し、こうした要望実現に向けて乗車増員対策、観光誘客事業の継続、充実に努めます。

- 問 現在の運動広場の敷地に加え、隣接する旧伊香衛生プラントのし尿処理施設を含めた4・4ha

- で計画し、子どもから高齢者まで市民に広く愛され

- れる運動公園となるよう

- に計画を進めます。在県との協議を進めてきています。本年度内におきまして今後の方向性について一定の整理を行つてまいります。

- 答 現在の運動広場の敷地に加え、隣接する旧伊香衛生プラントのし尿処理施設を含めた4・4haで計画し、子どもから高齢者まで市民に広く愛されれる運動公園となるよう

- に計画を進めます。在県との協議を進めてきています。本年度内におきまして今後の方向性について一定の整理を行つてまいります。

- 答 木之本宿再生計画に定めた街道を活かした町づくりの推進では、道路

整備は欠かせない課題で

あり、早期実現に向け現

在県との協議を進めてき

ています。本年度内にお

きまして今後の方向性に

ついて一定の整理を行つ

てまいります。

答 空き家利用の政策について問う。

答 空き家や空き店舗を

利用する事で、趣ある歴

史的な町並みを保全し

て、風情あるまち家を存

続する事は再生計画の重

要事業として積極的に取

り組んでおります。空き

家対策や移住対策では補助金対策事業を含め地域

住民との信頼関係を確

現状の取組みを継続的

進め、諸問題にも対応し

てていきます。

わかりやすい議会をめざしてます

代表質問の変更・予算常任委員会の設置

市議会では、市民に開かれ、わかりやすい議会とするため、このたび「会派代表質問についての変更」および「予算常任委員会の設置」を行いました。

次回の9月定例会から運用を開始いたしますので、ライブ中継の視聴や傍聴にぜひお越しください。

◎会派代表質問についての変更

代表質問とは？

各会派（市政に対して同じような考え方や意見を持っている議員のグループ）の代表者が行政事務全般にわたり、当局に対し、事務の執務状況や将来の方針などについて尋ねます。

①代表質問を3月定例会（当初予算審査）と9月定例会（決算審査）の年2回行います。【←従来：9月定例会の1回】

②質問の方法は、1回目から小項目一問一答とします。【←従来：1回目に一括して質問し、2回目から小項目一問一答】

③質問の時間は、会派の人数に応じた時間配分とします（答弁含まず）。

（基本時間35分+会派所属議員数×3分）【←従来：一律40分】

◎予算常任委員会の設置

全会計の当初予算・補正予算を専門的に審査するとともに、議案不可分の原則（議案審査は2つ以上の委員会に分割しない）に則った審査を行います。

（これまで）



総合計画特別委員会を開催しています

市議会では、昨年の9月議会において、市の最上位計画である総合計画の策定にあたり調査、研究ならびに提言等を行うため、総合計画特別委員会（11名）を設置し、これまで7回の特別委員会と1回の研修会を開催してきました。

これまでの調査や研究により、現在、策定が進められている総合計画について、様々な視点から充実を図られるよう総合計画特別委員会において提言をまとめ、提言内容を速やかに検討し、一層の配慮、充実を期されるよう6月27日に市長に提言を行いました。



■提言の項目

1. 計画の継続性と明確化について
2. 進捗状況の把握と検証及び評価、公表並びに意見の把握について
3. 財政健全化と施策への反映
4. 人口減少を見据えた総合的な施策の推進
5. 高齢者がいきいき暮らせる健康長寿社会の構築
6. 産業力の強化と雇用の拡大
7. 総合計画と個別計画との関連性の明確化
8. 市民参画の仕組み

■これまでの経過

会議名称	開催日	内容
設置	平成27年10月1日	・議決
第1回総合計画特別委員会	平成27年11月6日	・総合計画策定にかかる推進体制及びスケジュールについて ・これまでの取り組みについて ・今後の策定の方向性について
第2回総合計画特別委員会	平成28年2月4日	・第3回総合計画審議会の経過内容について ～構想（骨子案）の報告～ ・議会提案に向けた協議について
第3回総合計画特別委員会	平成28年4月13日	・第4回総合計画審議会の経過内容について
第4回総合計画特別委員会	平成28年5月20日	・基本計画（素案）について
総合計画特別委員会研修会	平成28年5月20日	・本市の総合計画の方向性について 〔講師：石井良一氏（滋賀大学社会連携研究センター教授）、 松島三児氏（長浜バイオ大学教授）〕
第5回総合計画特別委員会	平成28年6月13日	・新基本計画作業シートについての指摘事項や提案・提言等 意見の取りまとめ
第6回総合計画特別委員会	平成28年6月21日	・提言書案について
平成28年第2回本会議報告	平成28年6月24日	・委員会報告
全員協議会	平成28年6月24日	・提言書について
第7回総合計画特別委員会	平成28年7月6日	・基本計画（案）について審議

■今後の予定

特別委員会において、当局が作成される各種原案に対するチェック・検証を行い、総合計画が策定されるまでの間、適正に審議してまいります。

【長浜市総合計画とは】

長期的な展望に立って目指すべき将来像を示し、その実現に向けて総合的かつ計画的に行政運営を行うための指針。施策全体を体系化して管理し、各分野別計画の総合調整や、進捗管理を進めるための計画。

□計画期間

平成29年度から38年度の10年間

□構成

基本構想の下、基本計画（施策分野別計画、重点プロジェクト）、実施計画（事業執行計画等）の3層で構成される。

平成28年長浜市議会第2回定期会議決結果表

賛否の分かれた議案・意見書案		議案番号	案 件		新しい風							改革ながはま					日本共産党		要		公明党		無							
					佐 金 利 幸	阪 本 重 光	柴 田 清 行	竹 本 直 隆	轟 保 宰	中 川 勇	西 邑 定 幸	藤 井 繁	山 崎 正 直	浅 見 勝 也	草 野 豊	柴 田 光 男	中 川 リ ョ ウ	中 島 康 雄	矢 守 昭 男	吉 田 豊	浅 見 信 夫	鬼 頭 明 男	竹 内 達 夫	石 田 節 子	松 本 長 治	森 田 義 人	東 久 雄	鋒 山 紀 子	押 谷 與 茂 嗣	西 尾 孝 之
					賛成 多 数	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
第57号	長浜市税条例等の一部改正について				賛成 少 数	否 決	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	
意見書案 第3号	子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書				賛成 少 数	否 決	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×		

※ 総内の「○」は賛成、「×」は反対を表します。※ 議長の浅見勝也は採決に加わりません。

※ 表記の「〇」は賛成、「△」は反対を表します。
※ 会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

全員一致で賛成可決・承認・採択・可と答申したもの			
第52号	専決処分事項の承認を求めるについて（専決第1号） 専決第1号 平成27年度長浜市一般会計補正予算（第8号）	第61号	長浜水道企業団規約の変更について
第53号	専決処分事項の承認を求めるについて（専決第2号） 専決第2号 長浜市税条例等の一部改正について	第62号	湖北地域消防組合規約の変更について
第54号	平成28年度長浜市一般会計補正予算（第1号）	第63号	長浜市消防団に関する事務の委託について
第55号	平成28年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	第64号	財産の取得について
第56号	長浜市空家等に関する条例の制定について	第65号	財産の取得について
第58号	長浜市立公民館条例の一部改正について	諮問 第2号 第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて
第59号	長浜市運動場照明施設条例の一部改正について	請願 第3号	2024年滋賀国体弓道競技の長浜市開催と長浜市民弓道場の新設整備を求める請願書
第60号	長浜市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	委員会 提出議案 第3号	長浜市議会委員会条例の一部を改正する条例

今後の会議予定（7月15日以降）

- | | | |
|----------|--|---|
| 7月21日(木) | 定例常任委員会
10時～産業建設常任委員会
13時～健康福祉常任委員会
15時～総務教育常任委員会 | 9月13日(火)・14日(水) 個人一般質問
9月15日(木)・16日(金)
産業建設常任委員会、予算分科会、決算分科会
9月20日(火)・21日(水) |
| 8月9日(火) | 臨時議会 | 健康福祉常任委員会、予算分科会、決算分科会 |
| 8月18日(木) | 定例常任委員会 | 9月23日(金)・26日(月) |
| 9月1日(木) | 第3回定例会閉会日 | 総務教育常任委員会、予算分科会、決算分科会 |
| 9月12日(月) | 会派代表質問 | 9月27日(火) 予算常任委員会、決算特別委員会
9月29日(木) 第3回定例会閉会日 |

※（日程は変更される場合があります。）

この他にも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

議会の会議を 傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

▼選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて、初めての選挙が行われました。今後も若い世代の声が注目されそうです。

▼昨年、全国で熱中症による救急搬送された人は約5万6千人、そのうち65歳以上の高齢者が50%を超過しています。今年の夏も暑くなるそうです。くれぐれも注意ください。

▼意見交換会でのアンケートによりますと、「議会だより」を多くの方が読んでくださり、質問内容を楽しみにされている方が多いということです。これからもよろしく紙面を作つてまいりますので、よろしくお願いします。

▼意見交換会でのアンケートによりますと、「議会だより」を多くの方が読みでくださり、質問内容を楽しみにされている方が多いといつじです。これからもより細い紙面を作りたいと思いますので、よろしくお願いします。

ながはま市議会だより
広報広聴委員会

表紙写真

姉川ヤナ遡上鮎
(南浜町)

[市議会のホームページを
是非、ご覧ください。](http://www.city.nagahama.shiga.jp/index.cfm/14,,html)

